

2094

(株)中外陶園

CHUGAI TOEN

事業所名	(株)中外陶園	FAX番号	0561-83-5114
代表者名	鈴木 康浩	Eメール	info@chugaitoen.co.jp
所在地	〒489-0821 瀬戸市薬師町50	ホームページ	
連絡先	0561-82-2354	部会名	オーナメントウェア部会

大正時代、陶磁器の卸売業から事業を始めましたが、昭和27年に(資)中外陶園として主に輸出向けの製造販売に転換しました。平成7年に社長に就任すると同時に(株)中外陶園に社名を変更し、創業から4代目になります。

当初はヨーロッパを中心とした輸出向けの人形や動物を作っていましたが金融機関のプレミアム商品を手掛けたのがきっかけで干支づくりを始めました。たび重なる円高で輸出が厳しくなったということもあり、国内向けに自社オリジナルの商品開発をするようになりました。夏から暮れは干支づくり、その後は、雛人形、五月人形、夏の風鈴と一年を通し季節商品や縁起物のメーカーとして現在に至っています。

なかでも、招き猫は季節に関係なく一年を通して生産販売できますので、干支と並んで当社の柱になっています。

また、当社ならではの特徴的商品としては、伝統の染付技法とノベルティ生産で培った上絵技法による招き猫をはじめ、干支、雛・五月人形などがあります。全ての商品は、自社デザイナーがスケッチを起こすところから始まり、原型、鋳込みから下絵、上絵まで社内で一貫生産の仕組みが整っています。

瀬戸は、100年ほど前の明治時代後半に招き猫の生産を始めた量産招き猫では日本一歴史のある街で、水に浮かぶ金魚などと並びノベルティのルーツにともいわれています。1000年の歴史のある焼き物の街瀬戸では、わずか100年の歴史の招き猫ですが、あいち万博の時に招き猫が多くの人々を瀬戸に招く役割を果たしてくれればと招き猫ミュージアムを開館しました。

大半は日本一の招き猫コレクターからコレクションをお借りし、自社コレクションも含めて古いものから新しいものまで約5000種類展示しています。ものづくりの観点からは、多様なコレクションから創作するエネルギーや楽しさを感じ取ってもらい、観光の面からは、招き猫パワーで多くの観光客を瀬戸に招き瀬戸のやきものに親んでいただきたいという思いで運営しています。



招き猫ミュージアム



染付

上絵付